

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(保管場所及びアクセスルート)

| No. | 指摘日 | 資料の該当箇所 | | | | コメント内容 | 回答日 | 回答 | 資料等への 反映箇所 | 備考 |
|------------------------------------|--------------------|---------------|---------------------------------|--|-----------|--|----------|---|---|-----------------------------|
| | | ヒアリング 資料番号 | 図書種別、 目録番号 | 図書名称 | 該当頁 | | | | | |
| 設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.148 | 審査会合 (R3.2.18) | - | 設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2 | 島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2 | 1.0.2-466 | 抑止杭による施設対応について、詳細設計段階 で保管場所及びアクセスルートへの悪影響を防止 するために必要な施設として設計する方針である ことを、とりまとめ資料の適切な箇所に記載する こと。 | 2022/6/3 | 抑止杭施工前の斜面のすべり安定性評価において、ばらつきを考慮したすべり安全率が 評価基準値を下回ること等から、抑止杭が必要な設備であることを記載しました。 また、詳細設計段階においては、更に余裕を持った設計とすることを目的に、抑止杭5本 を追加配置する計画としました。 | NS2-他-067改04「島根原子力発電所第2号 機 工事計画認可申請(補正)に係る論点整 理について」JP.16, 19 NS2-他-071改04「補足説明(島根原子力発 電所第2号機 工事計画認可申請(補正))に 係る論点整理について」JNS2-補-020のP.1 ~3, 58, 59(通し頁P.141~143, 198, 199) | 主な説明事項 【1-11】 (分類【B】) |
| 設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.149 | 審査会合 (R3.2.18) | - | 設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2 | 島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2 | 1.0.2-466 | 周辺斜面のすべり安定性評価について、抑止杭 効果の中抜け等による不確かさ、地盤状況の不 確かさ等を踏まえ、先行審査実績と同様に、詳細 設計段階で十分に余裕のある設計とする方針で あることを、とりまとめ資料の適切な箇所に記載 すること。 | 2022/6/3 | 周辺斜面のすべり安定性評価について、抑止杭効果の中抜け等による不確かさ、地盤状 況の不確かさ等を踏まえ、詳細設計段階においては、更に余裕を持った設計とすることを 目的に、抑止杭5本を追加配置する計画としました。 | NS2-他-067改04「島根原子力発電所第2号 機 工事計画認可申請(補正)に係る論点整 理について」JP.16, 19 NS2-他-071改04「補足説明(島根原子力発 電所第2号機 工事計画認可申請(補正))に 係る論点整理について」JNS2-補-020のP.1 ~3, 58, 59(通し頁P.141~143, 198, 199) | 主な説明事項 【1-11】 (分類【B】) |
| 設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.150 | ヒアリング (R3.2.4) | - | 設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2 | 島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2 | 1.0.2-466 | 詳細設計段階において、現状の安全率1.11を更 に向上させることについて検討すること。 | 2022/6/3 | 更に余裕を持った設計とすることを目的に、抑止杭5本を追加配置しました。 その結果、基本設計段階において1.11と評価していたすべり安全率が1.22に向上すること を確認しました。 | NS2-他-067改04「島根原子力発電所第2号 機 工事計画認可申請(補正)に係る論点整 理について」JP.16, 19 NS2-他-071改04「補足説明(島根原子力発 電所第2号機 工事計画認可申請(補正))に 係る論点整理について」JNS2-補-020のP.1 ~3, 58, 59(通し頁P.141~143, 198, 199) | 主な説明事項 【1-11】 (分類【B】) |
| 設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.151 | ヒアリング (R3.1.21) | - | 設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2 | 島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2 | 1.0.2-466 | 杭間隔について、同等の杭スケールの実績等を 説明すること。 | 2022/6/3 | 一般産業施設の施工事例について、Ss規模の地震による被災事例等に着目して確認し た結果、Ss規模の事例がないことから、杭間隔の妥当性を確認するため、文献調査によ り中抜け現象に係る判定基準を設定し、杭間及び杭周辺をモデル化できる3次元FEM解 析を実施しました。 その結果、杭間及び杭背後の岩盤は健全であることから、判定基準を満足しており、中抜 けするおそれはないと評価しました。 | NS2-他-067改04「島根原子力発電所第2号 機 工事計画認可申請(補正)に係る論点整 理について」JP.18, 22~24 NS2-他-071改04「補足説明(島根原子力発 電所第2号機 工事計画認可申請(補正))に 係る論点整理について」JNS2-補-020の P.22, 23, 25~27, 116, 123(通し頁P.162, 163, 165~167, 256, 263) | 主な説明事項 【1-11】 (分類【B】) |
| 設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.152 | ヒアリング (R3.2.4) | - | 設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2 | 島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2 | 1.0.2-466 | 詳細設計段階において、杭間の岩盤の中抜けを 想定した解析的検討について、3次元解析を 考慮に入れて検討すること。 | 2022/6/3 | 杭間隔の妥当性を確認するため、文献調査により中抜けに係る判定基準を設定し、杭間 及び杭周辺をモデル化できる3次元FEM解析を実施しました。 その結果、アーチ効果が認められること等から、判定基準を満足しており、杭間の中抜け 現象は発生しないと評価しました。 | NS2-他-067改04「島根原子力発電所第2号 機 工事計画認可申請(補正)に係る論点整 理について」JP.18, 22~24 NS2-他-071改04「補足説明(島根原子力発 電所第2号機 工事計画認可申請(補正))に 係る論点整理について」JNS2-補-020の P.22, 23, 25~27, 116, 123(通し頁P.162, 163, 165~167, 256, 263) | 主な説明事項 【1-11】 (分類【B】) |

| No. | 指摘日 | 資料の該当箇所 | | | | コメント内容 | 回答日 | 回答 | 資料等への 反映箇所 | 備考 |
|------------------------------------|--------------------|---------------|---------------------------------|--|-----------|--|----------|---|---|-----------------------------|
| | | ヒアリング 資料番号 | 図書種別、 目録番号 | 図書名称 | 該当頁 | | | | | |
| 設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.153 | ヒアリング (R3.1.21) | — | 設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2 | 島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2 | 1.0.2-466 | 杭下流側のシームすべりについて、保守性を考 慮し説明すること。 | 2022/6/3 | 杭前面における岩盤の肌分かれを想定したすべりの検討について動的解析を実施した結 果、評価基準値に対し、余裕を有していることを確認しました。 | NS2-他-067改04「島根原子力発電所第2号 機 工事計画認可申請(補正)に係る論点整 理について」P.17, 20 NS2-他-071改04「補足説明(島根原子力発 電所第2号機 工事計画認可申請(補正)に 係る論点整理について)」NS2-補-020の P.64, 65(通し頁P.204, 205) | 主な説明事項 【1-11】 (分類【B】) |
| 設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.154 | ヒアリング (R3.1.21) | — | 設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2 | 島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2 | 1.0.2-466 | 詳細設計段階において、杭根入れ部の局所安全 係数について確認する旨を記載すること。 | 2022/6/3 | 杭根入れ部の局所安全係数について確認した結果、区間Ⅰにおいてはせん断強度に達 した要素及び引張応力が発生した要素が認められず、健全性を確保していることを確認 しました。 区間Ⅱにおいては、せん断強度に達した要素は認められないが、引張応力の発生した要 素が認められたことから、引張強度を設定した詳細評価を実施しました。 その結果、引張強度に達した要素は局所的かつ散在的であること、抑止杭の根入れ部周 辺の引張強度に達した要素を避けるよう設定したすべり安全率が十分な余裕を有してい ることから、区間Ⅰと同様、健全性を確保していることを確認しました。 以上のことから、抑止杭の根入れ部は十分な水平支持力を有していると評価しました。 | NS2-他-067改04「島根原子力発電所第2号 機 工事計画認可申請(補正)に係る論点整 理について」P.18, 21 NS2-他-071改04「補足説明(島根原子力発 電所第2号機 工事計画認可申請(補正)に 係る論点整理について)」NS2-補-020のP.66 ~82(通し頁P.206~222) | 主な説明事項 【1-11】 (分類【B】) |
| 設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.155 | ヒアリング (R3.1.21) | — | 設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2 | 島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2 | 1.0.2-466 | 地中構造物のモデル化の考え方を説明するこ と。 | 2022/6/3 | 地中構造物は重量の観点から保守的になるよう埋戻土によりモデル化しました。 また、埋戻部前面での肌分かれを想定し、埋戻土部のすべり面を考慮しないケースにつ いても検討した結果、区間Ⅰのすべり安全率は1.10、区間Ⅱのすべり安全率は1.31とな り、評価基準値に対して余裕を有しており、安定性を有することを確認しました。 | NS2-他-071改04「補足説明(島根原子力発 電所第2号機 工事計画認可申請(補正)に 係る論点整理について)」NS2-補-020の P.55, 59, 61(通し頁P.195, 199, 201) | 主な説明事項 【1-11】 (分類【B】) |
| 設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.156 | 審査会合 (R1.12.24) | — | 設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2 | 島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2 | 1.0.2-568 | 外装材の落下による影響範囲の考え方を示すこ と。また、外装材以外の落下を考慮していない理 由を説明すること。 | 今回回答 | 外装材の影響がある建物については、平成20年4月1日に国土交通省住宅局建築指導課 長より出された、「建築基準法施行規則の一部改正等の施行について(技術的助言)」を 参考に、建物高さの半分を影響範囲として設定している。この技術的助言において、建築 物の外部の外装仕上げ材等について、その落下により「歩行者等に危害を加えるおそれ のある部分」を、当該壁面の前面かつ当該壁の高さの概ね2分の1の水平面内に構内道 路等を有する壁面としていることから、同様の考え方に基づいて外装材の落下によるア クセスルートへの影響範囲を建物高さの半分として設定することとしています。(審査会合 (R2.5.18)にて説明済み) 外装材以外の部材等のうち、落下した場合に保管場所及びアクセスルートに影響を及ぼ す可能性のあるもので、人力又はホイールローダにより撤去が困難なものについて抽出 し、耐震評価を実施しました。 耐震評価につきましては、対象部材ごとに評価を行い、基準地震動Ss時において落下し ないことを確認しました。 【耐震評価対象設備】 ・原子炉建物1階RCW熱交換器室北側鋼製扉 ・ガスタービン発電機建物屋外階段 ・緊急時対策所屋外階段 ・免震重要棟鋼製バルコニー | NS2-補-020改15「工事計画に係る補足説明 資料(安全設備及び重大事故等対処設備が 使用される案件の下における健全性に関する 説明書)」P.115~165 | 分類【E】 |

| No. | 指摘日 | 資料の該当箇所 | | | | コメント内容 | 回答日 | 回答 | 資料等への 反映箇所 | 備考 |
|------------------------------------|--------------------|---------------|---------------------------------|--|---------------------------------------|---|----------|--|---|-------|
| | | ヒアリング 資料番号 | 図書種別、 目録番号 | 図書名称 | 該当頁 | | | | | |
| 設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.157 | 審査会合 (R2.5.18) | — | 設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2 | 島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2 | 1.0.2-635 | 敷地内の鉄塔について、耐震評価の流れや考え 方を詳細に説明すること。その際、各鉄塔の種 別、系統、構造形状、地盤構造、支持地盤の概 要を示した上で、どのような損傷モードを考え評 価しているかを説明すること。 | 2022/6/9 | 発電所構内の送電鉄塔他について、選定した影響評価方法に基づき、耐震評価及び鉄 塔滑落評価を実施しました。 耐震評価については、鉄塔(鉄構含む。以下同様。)ごとに鉄塔本体及び鉄塔基礎の評 価をそれぞれ行い、各鉄塔ごとに選定した基準地震動において倒壊しないこと並びに鉄 塔の支持性能に影響を及ぼさないことを確認しました。 【耐震評価対象鉄塔】 ・220kV第二島根原子力幹線No.1及びNo.2鉄塔 ・66kV鹿島支線No.2-1鉄塔 ・第2-66kV開閉所屋外鉄構 ・通信用無線鉄塔 鉄塔滑落評価につきましては、評価対象とした鉄塔がアクセスルートまで滑り落ちること がないことを確認しました。 【滑落評価対象鉄塔】 ・66kV鹿島支線No.3鉄塔 ・500kV島根原子力幹線No.1、No.2、No.3鉄塔 | NS2-補-020改14「工事計画に係る補足説明 資料(安全設備及び重大事故等対処設備が 使用される条件の下における健全性に関する 説明書)」P.1~180 | 分類【E】 |
| 設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.158 | 審査会合 (R2.12.1) | — | 設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2 | 島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2 | 1.0.2-635 | 発電所構内の鉄塔の影響評価について、今後の 保管場所及びアクセスルートに係る周辺斜面の 安定性評価の審査において説明すること。 | 2022/6/9 | 耐震評価対象鉄塔5基のうち、斜面上に設置している3基を対象に鉄塔斜面の2次元動的 FEM解析を実施した結果、すべり安全率が評価基準値を上回っており、安定性を有する ことを確認しました。 (設置許可審査における審査会合(2020.2.18)の説明と同様) | NS2-補-020改14「工事計画に係る補足説明 資料(安全設備及び重大事故等対処設備が 使用される条件の下における健全性に関する 説明書)」P.181~191 | 分類【E】 |
| 設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.159 | ヒアリング (R1.12.9) | — | 設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2 | 島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2 | 1.0.2-61 | 段差緩和対策について詳細設計(工認)で説明す ること。 | 今回回答 | 可搬型設備の走行不能を防止するため段差緩和対策(路盤補強材)を事前に実施すること で車両通行性を確保する計画としました。 | NS2-補-020改15「工事計画に係る補足説明 資料(安全設備及び重大事故等対処設備が 使用される条件の下における健全性に関する 説明書)」P.189~193 | 分類【E】 |
| 設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.160 | ヒアリング (R2.4.22) | — | 設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2 | 島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2 | 1.0.2-61 | 第1・4保管エリアの噴砂による堆積量について 詳細に説明すること。 | 後日回答 | | | 分類【D】 |
| 設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.161 | ヒアリング (R2.2.5) | — | 設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2 | 島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2 | 1.0.2-45~ 48.76~ 80.364~ 396 | 保管場所周辺建造物の評価方針及び評価結果 について説明すること。 | 後日回答 | | | 分類【E】 |
| 設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.162 | ヒアリング (R2.2.5) | — | 設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2 | 島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2 | 1.0.2-45~ 48.76~ 80.364~ 396 | ※1(設置許可基準規則9条、技術基準規則12条 において耐震性を示すもの)について、どの段階 で説明するか、説明すること。 | 後日回答 | | | 分類【E】 |
| 設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.163 | その他 | — | 設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2 | 島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2 | 1.0.2-69 | (まとめ資料での当社の記載) なお、輪谷貯水槽(西1/西2)の耐震評価結果 は詳細設計段階で示す。(別紙(28)参照) | 後日回答 | | | 分類【D】 |

| No. | 指摘日 | 資料の該当箇所 | | | | コメント内容 | 回答日 | 回答 | 資料等への 反映箇所 | 備考 |
|------------------------------------|-----|---------------|---------------------------------|--|-------------------|--|------|---|---|-------|
| | | ヒアリング 資料番号 | 図書種別、 目録番号 | 図書名称 | 該当頁 | | | | | |
| 設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.164 | その他 | — | 設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2 | 島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2 | 1.0.2- 111,564 | (まとめ資料での当社の記載) 3.(4)c. ⑤(a)と同様に、沈下量の算出及び浮き上 がり評価における地下水位については、詳細設 計段階で決定するため、設置許可段階におい ては地下水位を地表面に設定する。(別紙(36)参 照) 以上を踏まえ、地中埋設構造物の浮き上がり評 価等に用いる地下水位については詳細設計段階 で決定するため、設置許可段階においては地下 水位を地表面に設定する。 | 今回回答 | 沈下量の算出及び浮き上がり評価における地下水位については、3次元浸透流解析結 果に基づいて設定した値を用いていることを記載しました。 | NS2-補-020改15「工事計画に係る補足説明 資料(安全設備及び重大事故等対処設備が 使用される条件の下における健全性に関する 説明書)」P.167,179 | 分類【D】 |

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(保管場所及びアクセスルート)

| No. | 指摘日 | 資料の該当箇所 | | | | コメント内容 | 回答日 | 回答 | 資料等への 反映箇所 | 備考 |
|-----|----------|---------------|-------------------|--|-----------|---|------|---|---|----|
| | | ヒアリング 資料番号 | 図書種別、 目録番号 | 図書名称 | 該当頁 | | | | | |
| 01 | 2022/2/8 | NS2-補-020 改02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.269.270 | 断面図及び平面図で、鉄骨造の範囲及び免震装置の配置を説明すること。 | 今回回答 | 各階の梁伏図を追加し、鉄骨造の範囲及び免震装置の配置を梁伏図及び断面図に示しました。また、図を追加したことに伴い、以降の図番号を見直しました。 | NS2-補-020改15「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」JP76～83,87,89～92,99 | |
| 02 | 2022/2/8 | NS2-補-020 改02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.272 | 本建物に採用した各免振装置の特徴、役割等を整理して説明すること。 | 今回回答 | 各免振装置の概要、役割・特徴及び特性を整理して追加しました。また、表を追加したことに伴い、以降の表番号を見直しました。 | NS2-補-020改15「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」JP.84～98,100～102 | |
| 03 | 2022/2/8 | NS2-補-020 改02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.274 | マルチ・シア・スプリングモデルについて詳細に説明すること。 | 今回回答 | マルチ・シア・スプリングモデルの説明として、水平面内に非線形特性が同一なばねを等角度(8方向)に配置することで、等方性と2軸連成効果が考慮されるモデルであることを記載しました。 | NS2-補-020改15「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」JP87 | |
| 04 | 2022/2/8 | NS2-補-020 改02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.279 | 積層ゴムの引張側剛性の二次勾配1/50の設定根拠を説明すること。 | 今回回答 | 積層ゴムの引張側剛性について、メーカーが実施した積層ゴムの引張特性試験に基づき、圧縮側剛性に乘じる係数として面圧1N/mm ² 相当軸力以下では1/10、面圧1N/mm ² 相当軸力を超える場合は1/50を設定していることを記載しました。 | NS2-補-020改15「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」JP92 | |
| 05 | 2022/2/8 | NS2-補-020 改02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.279 | 積層ゴムの引張側面厚が1N/mm ² を超えていないか確認して説明すること。 | 今回回答 | 地震応答解析結果の結果、免震装置の引張側面厚が1N/mm ² を超えないことを確認し、記載しました。 | NS2-補-020改15「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」JP92 | |
| 06 | 2022/2/8 | NS2-補-020 改02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.279 | 免震装置及び上部構造の減衰定数の設定の考え方について説明すること。 | 今回回答 | 上部構造の水平方向及び鉛直方向の減衰定数5%は、島根2号機の鉄筋コンクリート造の建物で採用されている値であることを記載しました。免震装置の鉛直方向の減衰定数2%は、メーカーが実施した積層ゴムの鉛直特性試験に基づき設定したことを記載しました。 | NS2-補-020改15「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」JP87、92 | |
| 07 | 2022/2/8 | NS2-補-020 改02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.268 | 免震構造を採用した理由を説明すること。 | 今回回答 | 免震重要棟は建物内に緊急時対策所を設置する計画で、緊急時対策所の機能を維持できるよう、免震構造を採用した建物として設置したが、基準地震動Sesに対する耐震性・気密性確保をより確実にするため、新たに設置する耐震構造の建物内に緊急時対策所を移設することとしたことを記載しました。 | NS2-補-020改15「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」JP76 | |
| 08 | 2022/2/8 | NS2-添1-026(比) | 比較表(VI-1-1-7-別添1) | 先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7-別添1)可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.62 | 貯水槽の評価について、②周辺タンク等の損壊で評価していることを説明すること。 | 今回回答 | 表2-4 保管場所に対する被害要因及び被害事象の②周辺タンク等の損壊に*を追加し、淡水貯水槽等の損壊による溢水評価を含むことを注記に追加しました。 | NS2-添1-026改01「VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート」JP13,39 NS2-添1-026 改01(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7-別添1)可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート」JP13,58 | |

| No. | 指摘日 | 資料の該当箇所 | | | | コメント内容 | 回答日 | 回答 | 資料等への 反映箇所 | 備考 |
|-----|-----------|---------------|---------------|--|-----------|--|-----------|---|--|----|
| | | ヒアリング 資料番号 | 図書種別、 目録番号 | 図書名称 | 該当頁 | | | | | |
| 09 | 2022/2/8 | NS2-補-020改02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.398,400 | 第4保管エリアの変更理由の拡充並びに可搬型設備の変更前後の数量及び変更理由について説明すること。 | 今回回答 | 第4保管エリアの変更理由の拡充しました。また、数量が変更となった可搬型設備の名称、数量内訳、変更理由を説明する表17-1を追加しました。 | NS2-補-020改15「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」JP279,280 | |
| 10 | 2022/2/8 | NS2-補-020改02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.405 | 重油移送配管の地下ダクトの範囲及び乗り越え箇所の概要を説明すること。 | 今回回答 | 図18-1の変更後において、地下ダクト範囲を黄色着色において示し、乗り越え箇所の概要(イメージ)を追加しました。 | NS2-補-020改15「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」JP287 | |
| 11 | 2022/2/8 | NS2-補-020改02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.403,405 | 重油の移送経路を説明すること。 | 今回回答 | 重油の移送経路として、重油タンク(No.2,3)からA,B重油サービスタンクへ重油を移送する旨を追記し、図18-1にその起点となるタンクを追記しました。 | NS2-補-020改15「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」JP285,287 | |
| 12 | 2022/2/8 | NS2-補-020改02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.315,316 | 内空寸法が最大である光ケーブルダクトの代表性について説明すること。 | 今回回答 | 地中埋設構造物の損壊について、内空寸法が最大である光ケーブルダクトを代表して耐震評価を説明することとしていましたが、地中埋設構造物の損壊を想定し、事前に損壊対策を実施することでアクセスルートの車両通行性を確保する方針に変更しました。 | NS2-補-020改15「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」JP182～184,196～205 | |
| 13 | 2022/2/16 | NS2-補-020改02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.111 | ②-②断面の引張領域について、引張応力の発生要因を考察し、整理して説明すること。 | 2022/5/11 | ②-②断面では、抑止杭の有り無しそれぞれの主応力図及び岩盤の変形図を示し、②-②断面に発生している引張応力が抑止杭と周辺の岩盤の剛性差によるものである説明を追加しました。 | NS2-補-020改09「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」JP.147～153 | |
| 14 | 2022/2/16 | NS2-補-020改02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.111,143 | ②-②断面の引張領域を特定し、説明すること。必要に応じて、抑止効果を発揮できるように対策を講じること。なお、三次元FEM解析の結果について、引張応力を含めて、中抜け現象の考察を行うこと。 | 2022/5/11 | ②-②断面において、原位置引張試験により岩盤の引張強度を設定し、引張強度に達した要素が局所的かつ散在的であること、抑止杭の根入れ部周辺の引張強度に達した要素を通るよう設定したすべり安全率が十分な裕度を有していることから、抑止杭の根入れ部は十分な水平支持力を有している旨を追記しました。また、文献④により示されるアーチアクションの形成及び中抜け現象発生までのメカニズムから、中抜け現象抑制の判定基準を設定し、3次元FEM解析において、杭間の岩盤のうち引張強度に達している要素は局所的であること、アーチ効果が認められること等から、判定基準を満足しており、杭間の中抜け現象は発生しないと評価しました。 | NS2-補-020改09「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」JP.101,102,104～106,154～159,186～200 | |
| 15 | 2022/2/16 | NS2-補-020改02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.65 | 抑止杭の配置として、区間Ⅰと区間Ⅱの抑止杭をラップさせる必要性の有無について、具体的に説明すること。境界において、谷筋であり、すべりは発生しないものと考えられるが、杭を入れなくて良いとした理由を説明すること。 | 2022/5/11 | 区間Ⅰ及び区間Ⅱは谷で分かれており、異なる山体であることを敷地造成工事の切取前の空中写真等により確認しました。このことから、区間Ⅰ及び区間Ⅱは、異なるすべり形態となっており、現状の杭配置で、それぞれのすべり安定性が確保されていることから、区間Ⅰ及び区間Ⅱの杭配置を重複させる必要性はないと評価しました。 | NS2-補-020改09「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」JP.89,90 | |
| 16 | 2022/2/16 | NS2-補-020改02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.69 | b-b断面において、頂部のD級岩盤内のすべり安定性について説明すること。 | 2022/3/30 | b-b断面において、頂部のD級岩盤内のすべり安定性評価の結果、最小すべり安全率は1.51であり、評価基準値1.0に対し余裕を有することを確認しました。 | NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」JP.85 | |

| No. | 指摘日 | 資料の該当箇所 | | | | コメント内容 | 回答日 | 回答 | 資料等への 反映箇所 | 備考 |
|-----|-----------|------------------|---------------|--|-------|---|-----------|--|---|----|
| | | ヒアリング 資料番号 | 図書種別、 目録番号 | 図書名称 | 該当頁 | | | | | |
| 17 | 2022/2/16 | NS2-補-020改 02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.144 | 区間Ⅱについて、杭間隔の妥当性を考察し、説明すること。 | 2022/5/11 | 区間Ⅱの杭間のシームにおいて、局所安全係数が1.0を下回っていますが、杭間の岩盤は健全であること、アーチ効果が認められること等から、杭間の中抜け現象は発生しないと評価しており、杭間隔は妥当と評価しました。 | NS2-補-020改09「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.198,200 | |
| 18 | 2022/2/16 | NS2-補-020改 02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.65 | 3次元FEMにて、杭間12mをモデル化し、杭間17.5mをモデル化しない妥当性を考察し、説明すること。 | 2022/3/30 | 区間Ⅰのうち杭間隔17.5mの範囲は3次元静的FEM解析モデルには含まれていないが、3次元静的FEM解析の結果、すべりに対して十分な裕度を有していること、及びモデル化している範囲に比べて杭間隔17.5mの範囲の方がすべり土塊量が少ないことを踏まえると、杭間隔17.5mの範囲についても杭間を中抜けするおそれはないと評価しました。 | NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.172 | |
| 19 | 2022/2/16 | NS2-補-020改 02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.60 | 図2.7.1-3について、①②などの表記が斜面の記号と混在しているため、記載を適正化すること。 | 2022/3/30 | 図2.7.1-3における断面番号の記載を、他断面の番号と重複の無いよう適正化しました。 | NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.72 | |
| 20 | 2022/2/16 | NS2-補-020改 02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.78 | 抑止杭の物性値の算定式等の説明について、数字を追えるよう追記すること。 | 2022/3/30 | 抑止杭の物性値の数字を追えるよう、算定式を追記しました。 | NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.95 | |
| 21 | 2022/2/16 | NS2-補-020改 02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.80 | 常時応力解析の境界条件を追記すること。 | 2022/3/30 | 常時応力解析の境界条件を追記しました。 | NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.97 | |
| 22 | 2022/2/16 | NS2-補-020改 02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.88 | 図2.7.3-5について、図番号を適正化すること。 | 2022/3/30 | 抑止杭に作用するせん断力の算定方法を引用する図の引用先を図2.7.3-7に適正化しました。 | NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.105 | |
| 23 | 2022/2/16 | NS2-補-020改 02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.98 | 図2.7.4-1、SGIについて、p98とp99の記載の不整合を適正化すること。 | 2022/3/30 | SG(杭間の岩盤又はシームのせん断抵抗力)について、保守的にゼロとする旨、記載を統一しました。 | NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.118 | |
| 24 | 2022/2/16 | NS2-補-020改 02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.100 | 埋戻土の下端について明記すること。地下水位の凡例が小さく見えにくいいため、適正化すること。 | 2022/3/30 | 埋戻土の下端レベルを追記するとともに、凡例の大きさを適正化しました。同様の修正について、全ての図に対して行いました。 | NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.119他 | |
| 25 | 2022/2/16 | NS2-補-020改 02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.11 | 三次元浸透流解析の定常水位の記載を追記すること。 | 2022/3/30 | 図2.4.2.2-3、図2.4.2.3-4及び図2.8.2.1-4に3次元浸透流解析の定常水位を追記しました。 | NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.22,24,184 | |

| No. | 指摘日 | 資料の該当箇所 | | | | コメント内容 | 回答日 | 回答 | 資料等への 反映箇所 | 備考 |
|-----|-----------|------------------|---------------|--|------|---|-----------|--|---|----|
| | | ヒアリング 資料番号 | 図書種別、 目録番号 | 図書名称 | 該当頁 | | | | | |
| 26 | 2022/2/16 | NS2-補-020改 02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.26 | Ss-N1, Ss-N2について、鉛直動の位相反転を考慮しない理由を追記すること。 | 2022/3/30 | Ss-N1, Ss-N2については、観測波であるため鉛直動の位相反転を考慮しない旨を追記しました。 | NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.38 | |
| 27 | 2022/2/16 | NS2-補-020改 02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.37 | 有効応力の解析用物性値がないため、記載を適正化すること。 | 2022/3/30 | 有効応力解析の解析条件、解析用物性値等を追記しました。 | NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.13~19 | |
| 28 | 2022/2/16 | NS2-補-020改 02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.6 | 全応力解析による液状化範囲における液状化考慮の考え方を丁寧に説明すること。 | 2022/5/11 | 全応力解析による液状化範囲において、安定性評価の際にすべり面上のせん断力及びせん断抵抗力を考慮せずすべり安全率を算定する考え方を追記しました。また、冒頭の「2.2評価フロー」に、有効応力解析による液状化範囲の設定、及び液状化影響を踏まえた全応力解析によるすべり安定性評価の流れに係る説明を追加し、併せて評価フローを修正しました。 | NS2-補-020改09「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.1,46 | |
| 29 | 2022/2/16 | NS2-補-020改 02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.38 | ⑨-⑨断面は、斜面上に盛土がされているため、排水対策など施工上の配慮を説明すること。 | 2022/3/30 | ⑨-⑨'断面の盛土部について、盛土施工時に排水設備が設置されており、適切に排水対策をしている旨を記載しました。 | NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.187,188 | |
| 30 | 2022/2/16 | NS2-補-020改 02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.78 | 区間Ⅰ、区間Ⅱの境界について、航空写真などで地形を詳しく説明すること。 | 2022/3/30 | 航空写真等を追加し、区間Ⅰ、区間Ⅱで山体が異なっていることの詳細な説明を記載しました。 | NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.78,79 | |
| 31 | 2022/2/16 | NS2-補-020改 02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.91 | 許容せん断抵抗力について、p89, p90, p91において、コンクリートの扱いに不整合がないよう、記載を適正化すること。 | 2022/5/11 | せん断抵抗に関して、コンクリートの扱いに不整合がないよう、表2.7.3-6において、シームを通るすべりが発生した際に生じるせん断力をH鋼のみでなく、コンクリート及び帯鉄筋も負担することを追記しました。また、抑止杭の許容せん断抵抗力の計算式においても、コンクリート及び帯鉄筋も考慮して算定していることを明記しました。 | NS2-補-020改09「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.121,122 | |
| 32 | 2022/2/16 | NS2-補-020改 02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.95 | 必要なケースの断面力図を示すこと。 | 2022/3/30 | ①-①'断面及び②-②'断面における、抑止杭の断面力図を追記しました。 | NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.114,115 | |
| 33 | 2022/2/16 | NS2-補-020改 02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.95 | 杭の変形図、最大相対変形量を示すこと。 | 2022/3/30 | ①-①'断面及び②-②'断面における、最大せん断力発生時の抑止杭の変形図及び最大相対変形量を追記しました。 | NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.114,115 | |

| No. | 指摘日 | 資料の該当箇所 | | | | コメント内容 | 回答日 | 回答 | 資料等への 反映箇所 | 備考 |
|-----|-----------|------------------|---------------|--|-------|--|-----------|--|---|----|
| | | ヒアリング 資料番号 | 図書種別、 目録番号 | 図書名称 | 該当頁 | | | | | |
| 34 | 2022/2/16 | NS2-補-020改 02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.116 | 構造が相違していても、適用性がある旨を示すこと。 | 2022/5/11 | 表2.7.5-1において抑止杭の構造が相違していても、抑止杭の根入れ深さの考え方や、せん断抵抗力の設定方法等、島根における適用性があることの記載を追記しました。また、抑止杭の種類が深礎杭と鋼管杭で異なるが、一般産業施設の施工事例等と同様の構造があることを確認したことから、文献に基づいて設計する旨を追記しました。杭径の違い・杭間距離が異なることを踏まえた設計への反映として、施工時の配慮を行うとともに、3次元解析により中抜け現象に係る杭間及び杭周辺の岩盤の評価を行う旨を追記しました。 | NS2-補-020改09「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.162 | |
| 35 | 2022/2/16 | NS2-補-020改 02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.133 | 二次元場から三次元場への常時応力の展開式について、詳細に説明すること。 | 2022/3/30 | 二次元場から三次元場への常時応力の展開式について、導出の過程が分かるよう詳細に記載しました。 | NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.161,162 | |
| 36 | 2022/2/16 | NS2-補-020改 02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.4 | 離隔距離の根拠となる文献の内容について詳細に説明すること。 | 2022/3/30 | 「2.3.1離隔距離の考え方」において、離隔距離の設定に用いた各種文献を表2.3.1-1に整理し、それぞれの文献に関する詳細を追記しました。 | NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.4~8 | |
| 37 | 2022/2/16 | NS2-補-020改 02 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.1 | p37にて液状化を考慮したすべり安定性評価が行われていることを追記すること。 | 2022/3/30 | 評価対象斜面の選定における簡便法及び地震応答解析による周辺斜面のすべり安定性評価において、液状化を考慮したすべり安定性評価を行う旨を追記しました。 | NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.36 | |
| 38 | 2022/3/30 | NS2-他-086 | 回答整理表 | 島根原子力発電所第2号機指摘事項に対する回答整理表(保管場所及びアクセスルート) | P.1 | No.148, 149として、設計方針が工認図書の適切な箇所に記載されていることを確認すること。 | 後日回答 | | | |
| 39 | 2022/3/30 | NS2-補-020改 07 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.134 | ②-②断面において、引張りの発生要因に関して抑止杭の有り無しの影響について考察を加えること。 | 2022/5/11 | ②-②断面において、抑止杭の有り無しそれぞれの主応力図及び岩盤の変形図を示し、②-②断面に発生している引張応力が抑止杭と周辺の岩盤の剛性差によるものである説明を追加しました。 | NS2-補-020改09「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.148~153 | |
| 40 | 2022/3/30 | NS2-補-020改 07 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.141 | ②-②断面において、根入れ部の水平支持力の確認(傾斜・転倒)については、すべり面形成の有り無しの評価を示すこと。 | 2022/5/11 | 抑止杭の根入れ部周辺の引張強度に達した要素を通るよう設定したすべり安全率が十分な裕度を有していることから、抑止杭の根入れ部は十分な水平支持力を有している旨を追記しました。 | NS2-補-020改09「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.159 | |
| 41 | 2022/3/30 | NS2-補-020改 07 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.175 | 中抜け現象に対する効果が発揮されるメカニズムを説明したうえで、アーチアクションの形成および中抜け現象の発生までの過程において、中抜け現象の抑制の判定項目及び判定結果を説明すること。 | 2022/5/11 | 文献④により示されるアーチアクションの形成及び中抜け現象発生までのメカニズムから、中抜け現象抑制の判定基準を設定し、3次元静的FEM解析の結果がそれらを満たすことの説明を追加しました。 | NS2-補-020改09「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)JP.101, 102, 104~106 | |

| No. | 指摘日 | 資料の該当箇所 | | | | コメント内容 | 回答日 | 回答 | 資料等への 反映箇所 | 備考 |
|-----|-----------|------------------|---------------|--|----------|---|-----------|--|--|----|
| | | ヒアリング 資料番号 | 図書種別、 目録番号 | 図書名称 | 該当頁 | | | | | |
| 42 | 2022/3/30 | NS2-補-020改 07 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.78,180 | 区間Ⅰ、Ⅱで、異なる山体であることから、すべりの領域を分けて抑止杭の評価を行うことの妥当性を分かりやすく記載して説明すること。 | 2022/5/11 | 区間Ⅰ及び区間Ⅱは谷で分かれており、異なる山体であることを敷地造成工事の切取前の空中写真等により確認しました。このことから、区間Ⅰ及び区間Ⅱは、異なるすべり形態となっており、現状の杭配置で、それぞれのすべりの安定性が確保されていることから、区間Ⅰ及び区間Ⅱの杭配置を重複させる必要性はないと評価しました。 | NS2-補-020改09「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.89、90 | |
| 43 | 2022/3/30 | NS2-補-020改 07 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.18 | 液状化強度特性、ひずみ依存特性について、地盤の支持性能の基本方針との関係性を明確にしたうえで、必要に応じて相違点を説明すること。 | 2022/5/11 | 液状化強度特性、ひずみ依存特性等の解析用物性値について、本資料で用いる物性値に加え、地盤の支持性能に記載の物性値及び設定方法を追記し、両者を比較するとともに、地盤の支持性能に記載の物性値を用いた場合の影響検討を2次元有効応力解析により実施し、影響が軽微であることを確認しました。 | NS2-補-020改09「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.24～30 | |
| 44 | 2022/3/30 | NS2-補-020改 07 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.144 | 施工事例との相違を詳細に比較したうえで、先行実績との差分については、設計方針へ反映するプロセス等が分かるように記載して説明すること。 | 2022/5/11 | 一般産業施設の施工事例、及び先行炉の実績との相違点を比較用に追加し、それらを鳥根の抑止杭の設計方針へ反映するプロセスがわかるよう説明を追加しました。 | NS2-補-020改09「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.162 | |
| 45 | 2022/3/30 | NS2-補-020改 07 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.144 | 詳細設計として、大口径の抑止杭を採用した経緯を明らかにしておくこと。そのうえで、先行実績との比較をすること。 | 2022/5/11 | 抑止杭について、鋼管杭、深礎杭等の特徴を示したうえで、これらの特徴や地盤状況を踏まえて深礎杭を選定した旨を追記しました。また、先行炉の実績との比較に際し、抑止杭の種類が深礎杭と鋼管杭で異なるが、一般産業施設の施工事例等に同様の構造があることを確認したことから、文献に基づいて設計する旨を追記しました。 | NS2-補-020改09「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.80、81、162 | |
| 46 | 2022/5/11 | NS2-補-020改 09 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.154 | 引張強度の設定に関して、区間Ⅰ、Ⅱに設定していること、設定の岩級をCH、CM級とした理由、目的を説明の前段に記載して説明すること。 | 2022/5/25 | 引張強度の設定に関して、区間Ⅰ、Ⅱに設定する旨を、原位置引張試験の説明の前段に追記しました。また、区間Ⅰ、Ⅱの動的解析の結果、引張応力が発生する範囲は、概ねCH級の凝灰岩及び頁岩と凝灰岩の互層であり、試験対象と同等の岩級かつ同一層準であること等から、CM級及びCH級の黒色頁岩で実施した引張強度試験結果が、区間Ⅰ、Ⅱに適用できる旨を追記しました。 | NS2-他-071改03「補足説明(鳥根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請(補正))に係る論点整理について」P.76,78,80(通し頁P.216,218,220) | |
| 47 | 2022/5/25 | NS2-他-067改 03 | 審査資料(論点整理) | 鳥根原子力発電所第2号機工事計画認可申請(補正)に係る論点整理について | P.25 | 許可からの申し送り事項、保管アクセスにおける抑止杭の位置付け及び設計の全体の流れを明確にして説明すること。なお、岩盤の中抜けについて、設計の位置付けが分かりやすいように説明すること。 | 2022/6/3 | 第3保管エリア及びアクセスルート周辺斜面において、すべり安全率が評価基準値を満足しないもしくは裕度が小さいことから、抑止杭を設置することで斜面崩壊を防止できる設計とし、構造成立性を設置許可審査で説明した旨を追記しました。また、詳細設計段階においては、申し送り事項を踏まえ、「①斜面のすべり安定性に関する検討」及び「②斜面のすべり安定性が確保される前提となる岩盤部の局所的な安定性に関する検討」を実施した旨を追記しました。岩盤の中抜けについて、杭間及び杭背後の健全性に着目して判定基準を設定し、3次元静的FEM解析の結果、杭間及び杭背後の岩盤は健全であることから、中抜け現象の発生に係る判定基準を満たすことを確認した旨を追記しました。 | NS2-他-067改04「鳥根原子力発電所第2号機工事計画認可申請(補正)に係る論点整理について」P.16～23 NS2-他-071改04「補足説明(鳥根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請(補正))に係る論点整理について」P.27,110,112,113,116,117,119,120,123(通し頁P.167,250,252,253,256,257,259,260,263) | |

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(保管場所及びアクセスルート)

| No. | 図書番号 | 図書名称 | 該当頁 | 適正化内容 | 提出年月日 | 備考 |
|-------------------------------------|----------------|---|------|--|-----------|----|
| No.1～No.115は、NS2-他-086改03で整理済みのため省略 | | | | | | |
| 116 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | 目次 | 適正化した別添1のページ番号と整合するよう記載を修正しました。 | 2022/6/10 | |
| 117 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.1 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)可搬型重大事故等対処設備の保管場所及び (新)可搬型重大事故等対処設備(以下「可搬型設備」という。)の保管場所及び | 2022/6/10 | |
| 118 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.2他 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)可搬型重大事故等対処設備 (新)可搬型設備 | 2022/6/10 | |
| 119 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.17 | 図2-3 周辺構造物の配置図(4) 第4保管エリア の第4保管エリアの形状を誤記修正しました。 | 2022/6/10 | |
| 120 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.23 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)第3保管エリアは切土地盤(岩盤)に支持される (新)第3保管エリアは切土地盤(岩盤)である | 2022/6/10 | |
| 121 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.23 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)第2保管エリアの中央部から端部の区間とする。 (新)第2保管エリアの埋戻部とする。 | 2022/6/10 | |
| 122 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.23 | 第1保管エリアの液状化及び揺すり込みによる不等沈下・傾斜影響評価を行う旨の記載を追記しました。 | 2022/6/10 | |

| No. | 図書番号 | 図書名称 | 該当頁 | 適正化内容 | 提出年月日 | 備考 |
|-----|----------------|---|------|--|-----------|----|
| 123 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.24 | 図2-6の影響評価断面位置は第2保管エリアの矢視を削除し第1保管エリアの矢視のみの記載としました。 | 2022/6/10 | |
| 124 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.25 | 図2-7の影響評価断面位置は第1保管エリアの矢視を削除し第2保管エリアの矢視のみの記載としました。 | 2022/6/10 | |
| 125 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.26 | 図2-8に2つの図のタイトル(不等沈下発生前/後のイメージ)を追記しました。 | 2022/6/10 | |
| 126 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.28 | 図2-9の説明文を修正しました。(下線部参照) (旧) 図2-9 に第2保管エリアとしている輪谷貯水槽(西1/西2)の位置図を示す。 (新) 図2-9に第2保管エリアの断面図を示す。 | 2022/6/10 | |
| 127 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.28 | 輪谷貯水槽(西1/西2)の説明を追記しました。(下線部参照) (旧) 第2保管エリアとしている輪谷貯水槽(西1/西2) (新) <u>地中埋設構造物である</u> 輪谷貯水槽(西1/西2) | 2022/6/10 | |
| 128 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.28 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) また、 <u>保管場所の影響評価</u> に用いる地下水位については、3次元浸透流解析結果に基づいて設定する。3次元浸透流解析は、地下水位低下設備(既設・新設)の機能に期待しない条件により実施し、その結果を図2-10に示す。 (新) また、影響評価に用いる地下水位については、 <u>地下水位低下設備の機能に期待しない条件により実施した3次元浸透流解析結果</u> に基づいて設定する。図2-10に地下水位分布図を示す。 | 2022/6/10 | |
| 129 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.28 | 図2-9の評価断面位置は図2-7に既に掲載済のため削除しました。 | 2022/6/10 | |
| 130 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.30 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 地中埋設構造物の地下水位が施設設置地盤より十分低い (新) 地中埋設構造物(輪谷貯水槽(西1/西2))の地下水位が当該構造物の下端(EL43.6m)より十分低い | 2022/6/10 | |

| No. | 図書番号 | 図書名称 | 該当頁 | 適正化内容 | 提出年月日 | 備考 |
|-----|----------------|---|---------|---|-----------|----|
| 131 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.31 | 表2-11の第1保管エリアについて、評価対象の岩盤部のみの記載に適正化しました。 | 2022/6/10 | |
| 132 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.32 | 図2-11をより鮮明な画像に修正しました。 | 2022/6/10 | |
| 133 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.32 | 表2-12の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地震時支持力 (新)地盤支持力 | 2022/6/10 | |
| 134 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.33 | VI-2-別添2-2「溢水源としない耐震B, Cクラス機器の耐震性についての計算書」については、後日提出となるため、以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)耐震性を有することを確認している。 (新)耐震性を有することを説明する。 | 2022/6/10 | |
| 135 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.39 | 表3-3の注記について、以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)注記*2:地震時においては (新)*2:地震時においては | 2022/6/10 | |
| 136 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.42 | 設計進捗に伴い、重油移送配管の経路を修正しました。 | 2022/6/10 | |
| 137 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.64,68 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)不等沈下対策 (新)段差緩和対策 | 2022/6/10 | |
| 138 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.65他 | 地中埋設構造物に48.連絡通路(地下部)を記載しました。 | 2022/6/10 | |
| 139 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.65 | 図3-11の図タイトルと対策方法見直しに伴う図の変更をしました。 | 2022/6/10 | |

| No. | 図書番号 | 図書名称 | 該当頁 | 適正化内容 | 提出年月日 | 備考 |
|-----|----------------|--|-------|--|-----------|----|
| 140 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.66 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)不等沈下対策を実施している箇所 (新)段差緩和対策を実施する箇所 | 2022/6/10 | |
| 141 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.68 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)断面形状を確認する (新)断面形状から不等沈下による相対沈下量または傾斜を確認する | 2022/6/10 | |
| 142 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.68 | 相対沈下量と傾斜の評価基準値を記載しました。 | 2022/6/10 | |
| 143 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.70 | 設計進捗に伴い、図3-12の浮き上がり対策を変更しました。 | 2022/6/10 | |
| 144 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.72 | 表3-14に示す安全率について、切り捨て表記に適正化しました。 また、通し番号「26宇中連絡ダクト」を追記し、あらかじめ浮き上がり対策を実施する旨記載しました。 | 2022/6/10 | |
| 145 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.73 | 側方流動の影響評価位置選定に関する説明について③-③断面に関する記載を適正化しました。 | 2022/6/10 | |
| 146 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.76 | 図3-15で示す2つの図タイトルを適正化しました。 | 2022/6/10 | |
| 147 | NS2-添1-026 改01 | VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート | P.103 | 図4-4について、以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・下階への伝播経路の有無により、伝播経路となる (新)・下階への伝播経路の有無により、伝播経路となる | 2022/6/10 | |
| 148 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | 目次 | 適正化した補足説明資料のページ番号と整合するよう記載を修正しました。 | 2022/6/10 | |

| No. | 図書番号 | 図書名称 | 該当頁 | 適正化内容 | 提出年月日 | 備考 |
|-----|---------------|--|---------|--|-----------|----|
| 149 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | 目次 | 8章では段差緩和対策の他に浮き上がり対策、損壊対策を記載することを理由に、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)8. 屋外のアクセスルートの段差緩和対策について (新)8. 屋外のアクセスルートの段差緩和対策等について | 2022/6/10 | |
| 150 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.8他 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)可搬型重大事故等対処設備 (新)可搬型設備 | 2022/6/10 | |
| 151 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.8 | 埋戻土の分布する位置を詳細に追記しました。 | 2022/6/10 | |
| 152 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.11 | 図4-2をより鮮明な画像に修正しました。 | 2022/6/10 | |
| 153 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.12,13 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)埋戻土(掘削ズリ) (新)埋戻土 | 2022/6/10 | |
| 154 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.15 | 図4-5に関する記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)第2保管エリアの位置図と断面 (新)第2保管エリアの位置図及び断面図 | 2022/6/10 | |
| 155 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.15 | 図4-5に関する記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)3次元浸透流解析結果に基づいて設定する。3次元浸透流解析は、地下水位低下設備(既設・新設)の機能に期待しない条件により実施し、その結果を図4-6に示す。 (新)地下水位低下設備の機能に期待しない条件により実施した3次元浸透流解析結果に基づいて設定する。 図4-6に地下水位分布図を示す。 | 2022/6/10 | |
| 156 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.16 | 図4-5の図タイトルを適正化しました。(下線部参照) (旧)図4-5 保管場所(第2保管エリア)の地中埋設構造物(輪谷貯水槽(西1/西2))位置図 (新)図4-5保管場所(第2保管エリア)の地中埋設構造物(輪谷貯水槽(西1/西2)) | 2022/6/10 | |

| No. | 図書番号 | 図書名称 | 該当頁 | 適正化内容 | 提出年月日 | 備考 |
|-----|---------------|--|---------------|--|-----------|----|
| 157 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.18 | 以下の誤記の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)輪谷貯水槽(西1/西2)の地下水位が構造物の下端(EL 44.3m)より十分低い (新)輪谷貯水槽(西1/西2)の地下水位が構造物の下端(EL_43.6m)より十分低い | 2022/6/10 | |
| 158 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.19 | 表5-1の第1保管エリアについて、評価対象の岩盤部のみの記載に適正化しました。 | 2022/6/10 | |
| 159 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.20 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)算出した。 (新)算定する。 | 2022/6/10 | |
| 160 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.19,21 | 第1保管エリアの可搬型設備は全て岩盤上に配置するため埋戻土の記載は削除しました。 | 2022/6/10 | |
| 161 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.21 | 図5-2の引用図書を図内に記載しました。 | 2022/6/10 | |
| 162 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.22 | 第1保管エリアの可搬型設備は全て岩盤上に配置するため埋戻土の評価は削除しました。 | 2022/6/10 | |
| 163 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.27 | 以下の記載を適正化(全角から半角に修正)しました。(下線部参照) (旧)統合原子力防災NW用屋外アンテナ (新)統合原子力防災NW用屋外アンテナ | 2022/6/10 | |
| 164 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.32他 | 以下の記載を適正化(全角から半角に修正)しました。(下線部参照) (旧)EL44m (新)EL44m | 2022/6/10 | |
| 165 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.36,61,63,71 | 放水路モニタ建物の移設に伴い、アクセスルートの周辺構造物(3号機周辺詳細図)を修正しました。 | 2022/6/10 | |
| 166 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.39 | 誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)確保できない場合は、倒壊の影響を受ける (新)確保できない場合は、倒壊の影響を受ける | 2022/6/10 | |

| No. | 図書番号 | 図書名称 | 該当頁 | 適正化内容 | 提出年月日 | 備考 |
|-----|---------------|--|-----------------------|---|-----------|----|
| 167 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.47 | 放水路モニタ建物の移設に伴い、アクセスルートへの影響評価結果(建物)のアクセスルート幅、判定値を修正しました。 | 2022/6/10 | |
| 168 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.65 | 誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)「 <u>VI-2-6-7-3-4-7 発信用アンテナ(1・2号)の耐震性についての計算書</u> 」 (新)なし | 2022/6/10 | |
| 169 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.69 | 図6-23の第二輪谷トンネル出口北部にある小規模構造物である配電柱の中心円着色を緑色から橙色に誤正しました。 | 2022/6/10 | |
| 170 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.75 | 誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)(33) 発信用アンテナ(1・2号)の耐震性に関する計算書 (新)(33) 受信用アンテナ(1・2号)の耐震性に関する計算書 | 2022/6/10 | |
| 171 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.75 | 誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)・ <u>VI-2-6-7-3-4-7 発信用アンテナ(1・2号)の耐震性についての計算書</u> (新)なし | 2022/6/10 | |
| 172 | NS2-補-020改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.103～105 | 評価対象とする建物外装材の抽出結果について記載していなかったため、評価対象の整理結果を追記しました。 | 2022/6/10 | |
| 173 | NS2-補-020改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.105～108, 110～114 | 上記No.172において図及び表を追加したことに伴い、図、表番号を見直しました。 | 2022/6/10 | |
| 174 | NS2-補-020改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.111 | 表7.2.2-4の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)設定することとし、さらなる安全余裕 (新)設定することとし、さらなる安全余裕 | 2022/6/10 | |
| 175 | NS2-補-020改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.110 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)評価方法 (新)耐震評価 | 2022/6/10 | |

| No. | 図書番号 | 図書名称 | 該当頁 | 適正化内容 | 提出年月日 | 備考 |
|-----|---------------|--|-----------|--|-----------|----|
| 176 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.166 | 浮き上がり及び地中埋設構造物の損壊の対策を含めた記載をするため以下の記載を適正化しました。 (旧)段差緩和対策 (新)段差緩和対策等 | 2022/6/10 | |
| 177 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.166 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)アクセスルート下の地中埋設構造物 (新)アクセスルート下に設置されている地中埋設構造物 | 2022/6/10 | |
| 178 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.166 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地中埋設構造物の損壊による影響評価 (新)地中埋設構造物を対象とした不等沈下、浮き上がり、損壊による影響評価 | 2022/6/10 | |
| 179 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.166他 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)不等沈下対策 (新)段差緩和対策 | 2022/6/10 | |
| 180 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.167 | 地中埋設構造物及び地盤改良部と埋戻土との境界を評価するため以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)(1) 不等沈下(地中埋設構造物と埋戻土等との境界部) (新)(1) 不等沈下(地中埋設構造物等と埋戻土との境界部) | 2022/6/10 | |
| 181 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.168他 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)概要図 (新)概念図 | 2022/6/10 | |
| 182 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.169他 | 地中埋設構造物に48.連絡通路(地下部)を記載しました。 | 2022/6/10 | |
| 183 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.170~172 | 表8-5と同様な表記とするため表8-2を以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地中埋設構造物及び地盤改良部と埋戻土との境界部(埋設物等境界部) (新)地中埋設構造物及び地盤改良部と埋戻土との境界部 | 2022/6/10 | |

| No. | 図書番号 | 図書名称 | 該当頁 | 適正化内容 | 提出年月日 | 備考 |
|-----|---------------|--|-----------|---|-----------|----|
| 184 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.170,177 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)不等沈下対策 (新)段差緩和対策 | 2022/6/10 | |
| 185 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.171 | 27.旧2号機放水口の段差箇所(約22cm)を追記しました。 | 2022/6/10 | |
| 186 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.174 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)断面形状を確認する (新)断面形状から不等沈下による相対沈下量または傾斜を確認する | 2022/6/10 | |
| 187 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.174 | 相対沈下量と傾斜の評価基準値を記載しました。 | 2022/6/10 | |
| 188 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.174 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地山 (新)岩盤 | 2022/6/10 | |
| 189 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.174,175 | 表8-3,表8-4に記載している段差や傾斜は次項の結果の表で記載するため削除しました。 | 2022/6/10 | |
| 190 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.175 | 表8-5(1/2)について、傾斜だけでなく段差に関する記載も追記しました。 | 2022/6/10 | |
| 191 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.175 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)評価基準値である15cm (新)評価基準値15cm | 2022/6/10 | |
| 192 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.175 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)液状化及び揺すり込みによる不等沈下が通行性に対して影響を及ぼさない (新)通行性に対して影響を及ぼさない | 2022/6/10 | |
| 193 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.176 | 表8-5(1/2)に対して該当のない凡例を削除しました。 | 2022/6/10 | |

| No. | 図書番号 | 図書名称 | 該当頁 | 適正化内容 | 提出年月日 | 備考 |
|-----|---------------|--|-------|--|-----------|----|
| 194 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.176 | 表8-5(1/2)について、傾斜だけでなく段差に関する記載も追記しました。 | 2022/6/10 | |
| 195 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.178 | 図8-4で示す段差緩和対策実施箇所を赤枠で囲い、より明確に記載しました。 | 2022/6/10 | |
| 196 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.179 | 浮き上がり評価対象位置は図8-1ですすでに掲載している通りであるため評価対象に関する記載を削除しました。 | 2022/6/10 | |
| 197 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.179 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)保管場所における影響評価と同様に、液状化に伴う浮き上がりによるアクセスルートの通行性への影響を評価する。 (新)保管場所と同様に、 <u>アクセスルート下に設置されている地中埋設構造物を対象とした液状化に伴う浮き上がりによるアクセスルートの通行性への影響を評価する。</u> | 2022/6/10 | |
| 198 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.179 | 図8-5の浮き上がり対策の概念図について、浮き上がり評価結果や現地状況を踏まえ、ダクトの内部は削除し、上部のみとしました。 | 2022/6/10 | |
| 199 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.179 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)保管場所における影響評価と同様に、 (新)保管場所と同様に、 | 2022/6/10 | |
| 200 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.179 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)『問題ない』 (新)『問題ない』 | 2022/6/10 | |
| 201 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.181 | 通し番号26「宇中中連絡ダクト」を追記し、あらかじめ浮き上がり対策を実施する旨記載しました。 | 2022/6/10 | |
| 202 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.185 | 浮き上がり及び地中埋設構造物の損壊の対策を含めた記載をするため以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)段差緩和対策 (新)段差緩和対策等 | 2022/6/10 | |
| 203 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.188 | 図8-9 事前対策の概念図について段差緩和対策の更新と損壊対策を追記しました。 | 2022/6/10 | |

| No. | 図書番号 | 図書名称 | 該当頁 | 適正化内容 | 提出年月日 | 備考 |
|-----|---------------|--|---------------|---|-----------|----|
| 204 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.189 | 8.4 段差緩和対策の設計では不等沈下, 浮き上がり, 損壊の対策について記載するため以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)8.4 段差緩和対策(不等沈下対策等)の設計 (新)8.4 段差緩和対策の設計 | 2022/6/10 | |
| 205 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.194 | 設計進捗に伴い, 図8-15の浮き上がり対策を更新しました。 | 2022/6/10 | |
| 206 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.259,261,282 | 以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)緊急時対策所正圧化装置(空気ポンペ) (新)空気ポンペ加圧設備(空気ポンペ) | 2022/6/10 | |
| 207 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.281 | 図17-1の変更後の第4保管エリアの形状を誤記修正しました。 | 2022/6/10 | |
| 208 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.282 | 図17-2に方位を追加しました。 | 2022/6/10 | |
| 209 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.282 | 図17-2の出入口部について, 凡例を追加し, 注記で地震後の状況を踏まえ通行可能であれば使用可能な出入口を識別しました。 | 2022/6/10 | |
| 210 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.283,284 | 誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)盛土地盤 (新)埋戻土 | 2022/6/10 | |
| 211 | NS2-補-020 改15 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.286,287 | 設計進捗に伴い, 重油移送配管の経路を修正しました。 | 2022/6/10 | |